



全力を出して学ぶことの大切さ

副校長

間もなく、立春を迎えます。節分に行う恒例のことといえば、豆まきであり、子供たちもとても楽しみにしています。寒い冬から、誰にとっても待ち遠しい春はもうすぐです。

1月に入り本校の児童が地域で活躍をしています。育英太鼓の皆さんは、蔵前警察署の武道始め式のオープニングで素晴らしい演奏をしました。ピンと張りつめた空間が和みました。また、Dブロックでの大会において5年ビーチボールバレーチーム（3、4、5年）はスポーツを通して、自校のチームの仲間を称え、他校との交流をしました。



さて、今回は「ノミ（蚤）の話」をご紹介します。

ノミは、大変小さな生き物です。しかし、その小さな体で、体長の何十倍ものジャンプ力をもつ生き物でもあります。このノミを使ってこんな実験をした人がいます。

ノミを使った実験 高さ10cmの小さなコップにノミを入れたらどうなるでしょうか？当然ジャンプをしてすぐに出ていってしまいます。次に、このコップにガラスの蓋をしたらどうなるでしょうか？ノミから見れば空が見えるので、思い切ってジャンプするのですが、蓋にぶつかってしまいます。ノミは何度かジャンプをしますが、その度に蓋にぶつかって落ちてしまいます。あんなに小さなノミにも神経があるので痛い外に出られない。ノミは次第にジャンプ力を弱め、いつしかコップの高さしかジャンプをすることができなくなってしまいます。

蓋を外したノミはどうするか？ 数ヶ月して、ガラスの蓋を外しました。ノミは嬉々として外に飛び出していくのでしょうか？実はそうはならず、ガラスの蓋が外れても、ノミはコップの高さ10cmしかジャンプしないのです。何ヶ月も10cmしかジャンプしていなかったのに、10cmの力になってしまったのです。

これは、学習や運動などにも当てはまります。いつも全部の力を出して頑張っている人は、その力のまま続けられます。逆に少しの力しか出していない人は、その少しの力が自分の力となってしまいます。2月は、まとめの時期であり進学・進級に向けた大切な時期です。子供たちが「全力を出して学ぶこと」ができるよう、教職員一同で支えていきます。

《校帽の販売と素材（順次変更）につきまして》

令和7年度より、これまでの販売業者による取り扱いがなくなったため、PTAの方にお手伝いをいただき頒布をしています。3月の授業参観・保護者会と同日に新2年生を対象とした校帽（紺・白）の集金を行います。必要でしたら、在校生の方もご利用ください。

なお、白（夏用）帽子の素材が廃盤となるため、サイズによっては、これまでの素材とは変わっていきますことをご理解ください。

本校の校内研究について

研究主任

インターネットなどを通じてたくさんの情報があふれ、多様な生き方や価値観に触れられる現代。変化も激しく将来を見通すことが難しい時代だからこそ、子供たちが流されることなく「人間としてよりよく生きる」姿勢が、今、求められています。

本校では、その基盤となる「自己肯定感（自分への自信）」を育むことが何よりも大切であると考え、3年間にわたり「道徳科」の研究に取り組んでまいりました。

この3年間を通して、子供たちは大きく成長しました。研究の成果として、「道徳の時間が好きになった」という声が増え、友達のような考えを聞くことへの関心も高まりました。また、自分の考えを深め、自分自身を真剣に振り返る姿も教室で多く見られるようになりました。

自分に自信を持ち、自分の人生を主体的に切り拓き、他者と協力して未来を創り出す力。この3年間で育まれた豊かな心を大切に、来年度以降も教職員一丸となって子供たちの成長を支えていきたいと思えます。

書き初め作品展示のお知らせ

国語担当

1月14日、15日に行われた席書会では、集中して丁寧に字を書く児童の姿が見られ、冬休みに練習した成果がどの作品にも表れていました。道具の準備等、ご協力ありがとうございました。

さて、今年度も多くの皆様にお子様の作品を観ていただける試みとして、児童用タブレット上に掲示する方法で展示を行います。お子様の学年の作品が閲覧できます。なお、個人情報取り扱いの観点から、画像の撮影等は行わないでください。お子様の作品は後日返却致します。

【閲覧方法】

「まなびポケット」の「スカイメニュー」から「発表ノート」を開くと、お子様の学年の作品がクラスごとに掲示されており、全クラス分観ることができます。1月26日（月）より、閲覧可能となっております。ぜひご覧になってください。

「台東区立小・中学校連合作品展」のお知らせ

図画工作科

令和8年2月14日（土）から2月19日（木）まで、東京都美術館にて「台東区立小・中学校連合作品展」が開催されます。本展覧会は各校から選出された児童の図画工作、家庭科、書写作品を展示し、子供たちの豊かな表現力や創作の成果を広く紹介することを目的としています。出品者だけでなく、より多くの児童や保護者の皆さまにご覧いただき、子供たちの学びや成長を感じていただける機会となっています。

また、期間中には同じフロアにて東京都公立学校美術展覧会（都展）も開催されています。ご都合が合えば、ぜひこちらもお覧ください。